

南の躍動

奄美のよさを生かした活力ある教育の充実



群倉（大和村）

第5号

平成30年1月4日
大島教育事務所

締めくくりの3学期、指導の成果を子どもの姿で問う

大島教育事務所 佐藤 秀正

新しい年を迎え、平成29年度の3学期が始まります。

昨年も学校訪問や研究会等で多くの授業を参観しました。子どもたちが学習問題の解決へ向けて、自分なりの考えを明確にして友達や教師と話し合い、自分の考えを深めたり広げたりする意欲的な姿が多く見られました。

また、多様な教材や教育機器を活用して子どもたちの関心や集中力を高める、終末段階で確実に学習内容の理解状況を確認する、自らの指導力を高めるために授業改善に取り組むなど、確かな学力を身に付けた子どもの育成に向けた先生方の熱心な姿も度々目にすることができ、心強く思いました。

私がよく見るNHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」は、様々な分野の第一線で活躍する一流のプロの仕事の仕方を徹底的に掘り下げ、仕事の奥深さや働くことの醍醐味を伝える番組です。彼らが技術を高めたり関係者から信頼されたりする背景には、自分の仕事と生き方に確固とした流儀やこだわりがあります。それは、子どもたちに身に付けさせるべき学力や体力等を確実に習得させるために真摯に取り組む、指導の成果を子どもたちの姿で問うという、教職にある者の基本的な心構えを大切にして日々の教育実践に努めている先生方の姿と重なります。

3学期は、1年間の指導内容の確実な定着を図るなど、締めくくりの大切な学期です。大島地区の大きな課題である学力向上をはじめ、よりよい子どもの育成を目指し、皆様方と一緒に頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



未来を担う大島地区の子どもたちの可能性を見た！

～日本復帰記念第34回大島地区弁論・英語暗唱大会（12/13）～

本大会は、昭和28年12月に念願だった奄美群島の祖国復帰を果たした先人の熱い思いを次の世代に引き継ぎ、これからの奄美を担い、国際社会の中で活躍する人材を育てたいという願いから生まれた伝統ある大会です。今年で34回となりましたが、その間、多くの中学生たちがこの大会を通して自分を磨き、視野を広め、大島地区に貢献する優秀な人材となっています。

各市町村代表の32名の弁論やショートスピーチは、「奄美の自然や伝統を受け継ぎ、守っていくこと」や「自分自身のこれからの生き方や世界平和に関すること」など多様な内容であり、社会の現状や自分自身の生き方を見つめるとともに、将来の夢や希望を抱きながら、生活している様子がひしひしと伝わってきました。

子どもたちが今後生きる時代は、情報化やグローバル化といった社会環境の変化が予測不可能な時代だといわれます。しかし、当日の発表から、このような時代でもしっかりと地に足を付け、目標をもって歩いていこうとする子どもたちのたくましさと共に、先生方の日頃からの熱心な指導も感じました。今後も、未来の大島地区を、さらには日本、世界を担う子どもたちを共に育てていきましょう。



英語暗唱大会の様子

<弁論大会>

最優秀賞	美坂 心音	(名瀬中3年)
優秀賞	原 和花	(朝日中3年)
	永田 心花	(面縄中3年)

<英語暗唱大会>

最優秀賞	平田 こはな	(名瀬中1年)
優秀賞	大里 尚可	(名瀬中3年)
	笹島 千愛	(和泊中3年)

業務改善をすべての学校で！

「学校の業務改善」の推進に向けたポスター原画及び標語について、多くの力作を応募していただき、ありがとうございました。大島地区全体で、ポスターは37校45人、標語は127校652人の応募がありました。

この度、県下の数ある作品の中から、大島地区の多くの応募作品が受賞したので、お知らせします。受賞された先生方、おめでとうございます。

作成した標語、ポスターを有効活用し、業務改善を推進していきましょう。

最優秀賞



宇検村立田検小学校
校長 平島 勝彦
事務職員 中国 仁美 合作

優秀賞

業務改善は 職員一人一人の 意識改善から
奄美市立赤木名小学校 教諭 齊藤 豪

縦と横 連携強化で 業務改善
天城町立西阿木名小学校三京分校 教諭 仲 恵

認め愛 支え愛 チーム学校
知名町立上城小学校 事務職員 吉元 美樹

変えよう、業務のかたち 学校のかたち。

1 付箋を用いたKJ法による授業の検証

(1) 授業の見方を学ぶ

授業研究では、先生方の経験や研究教科等を基に、様々な考えを出し合い、「自分だったら～」の視点で具体例を示したり、相手の意見に対して問いかけたりするなどして、教師の指導の在り方を見取る「眼」をお互いに高め合っています。



授業研究の様子
(付箋を用いたKJ法)

(2) 主体的参加を促す

授業研究では、授業の視点についての自分の考えを付箋に書いて協議したり、司会者がグループ全員に発言を促したりして、全員が必ず意見を出し合い、授業を視点に基づいて分析できるよう工夫しています。その結果、全員が主体的に協議に参加し、自分の指導の在り方に置き換えて授業改善について真剣に考え、自身の授業力向上につなげています。

2 リフレクションによる授業者の確認

授業研究の後に、研究授業者によるリフレクション(参考「大島の教育パンフレット3」)を行っています。授業の成果や課題等に係る様々な意見を司会者がまとめた後、授業者は今後、自分の授業でどのように改善していくかについて語っています。いわゆる授業者の「決意表明」を他の先生方が知ることで、今後の取組状況を確認したり、教材研究を協働で進めやすくしたりしています。



授業者のリフレクションの様子

学校から不祥事をなくそう！

- 飲酒の機会には、会場には絶対に車で行かない。
- 任地を離れる場合には、気の緩みや不慣れな土地での運転を意識して、交通事故防止に心がける。
- 交通違反や交通事故などを起こしたら、速やかに校長へ報告する。

ソフトテニス 女子 初優勝！

ハンドボール 男子 準優勝！ 女子 3位！
～第71回県民体育大会(11/18, 19)～

ハンドボールとソフトテニスの2つの競技が奄美大島で行われました。地元開催ということで上位を目指した大島チームですが、ハンドボール男子は決勝で敗れ連覇を逃したものの、ソフトテニスの女子が見事初優勝を成し遂げました。また、ハンドボール女子も3位に入賞し、地元開催を盛り上げました。

これからもスポーツを通して、大島地区を盛り上げていきましょう。



P T Aの活性化や充実・発展のための

ヒントを学びました！

～県PTA活動研究委嘱公開 龍郷町大会(12/2)～

龍郷町体育文化センター「りゅうゆう館」に集まった約500人の会員は、「家庭や地域の教育力を高め、心豊かな龍郷の子を育てるPTA活動はどうあればよいか。」をテーマに発表された龍郷町の事例発表を基に、研究協議等を行いました。

事例発表では、多くの方々にPTA活動に関わっていただくために、船こぎなどの地域行事に合わせてPTA活動を計画した事例や、学校保健委員会や家庭教育学級に親子で参加できるようにした事例などが発表されました。

今後も各PTAの実態に合わせた活動を工夫し、心豊かでたくましい子どもたちの育成に努めていくことを再確認しました。



全体会の様子